

農家の告知

(トビイロウシカ)

秋ウンカの発生と防除について

トビイロウシカが縣下各地に発生し被害を及ぼしつゝあります。なお今後、晴天が続けば被害は一層増加するものと思われ、圃場観察、特に圃場の中央部をよく観察し集糞を未然に防除するよう留意して下さい。例年発生が多い平地、発生を豫想される地域に縣下全般、特に壇部の常發地帯

狂犬病の予防注射

昭和二十九年 度、第二回狂犬病予防注射を左記要領により実施の旨大村保健所より通知がありましたので、犬の飼育者はおもれなく注射を受けて下さい。(保険衛課生) 料金

一頭に付 一、二〇圓	注射済票交付手数料 一件に付 二〇圓
十月二十五日 自午前九時 至午後三時	日
〃 二六日 本 町	鈴田出張所
〃 二七日 松原出張所	〃
〃 二八日 福重	〃
〃 二九日 西大村	〃
〃 三十日 竹松	〃
十一月一日 萱瀬	〃
〃 二日 三浦	〃

競艇市營

お宮日レース
10月 15(金) 16(土) 17(日) 18(月)
男女対抗レース

力道山賞争奪戦

ハ、發生の予想される時期に九月下旬から十月中旬ハ、豫想される加害程

日本になかったジャガイモの虫 馬齡薯蛾が發生

今迄、日本に於ては見る事の出来なかつた害虫「ジャガイモ蛾」が北松の志佐町、江迎町、鹿町、及び東彼の崎針尾村、宮村、西彼の龜岳村、瀬川村方面に發生した。「この害虫はどこからきたか。」予想は米国の海空軍が本國より取り寄せた食料中に、この害虫が潜伏し、その残飯を取つてゐる方面に分布されたものと考えられる。(生で原形のまゝの馬令薯を種子に使用したのではないかと思われる。)

害虫の形態

- (イ) 成虫：細い翅のある小蛾で体長八ミリ内外
- (ロ) △の開張一六一二〇ミリ体は銀灰色、前翅は灰褐色暗褐色の小斑がある。後翅は褐色で、淡褐色の長い縁毛を持つ
- (ハ) 卵：卵は長だ圓形の白色で、眞珠光澤、長さ〇、四五ミリ
- (ニ) 幼虫は老熟したものは桃色、又は黄白色、頭胸部硬皮板、及び胸脚は黒褐色、体長一〇ミリ内外
- (ホ) 蛹は紡錘形で褐色、長さ五、五ミリ白色繭の中、繭は幼虫の排泄物その他、夾雜物で作つてゐるので黒白色
- (ヘ) 「加害作物」：馬令薯、ナス、トマト、ほしすき、煙草(いずれも莖、葉、根なきを喰害)
- (ト) (防除法)
- (チ) 寄生植物搬入禁止
- (リ) 寄生植物の燒却
- (ニ) ホリドリル及びD.T.亂劑四百倍液一回に付、反当一石を三、四回撒布する

度圃場の各所、特に中央部に集團的に被害を及ぼし坪枯を發生すると思われれる。

ニ、警報發令の根拠
A 八月後半旬以後、九月第二半旬迄の誘殺數が多かつた。

B 各地で發生増加の傾向が認められた。
ホ、防除法
BHC粉劑(一―三除所長)

昭和29年産米穀の買入價格と28年産米穀の追加拂に付て

- 九月三十日閣議において次の通り決定した
- (一)、昭和二十九年産米 九、一、二〇圓
 - (ロ)、早期供出奨励金 九月二〇日まで (二、〇〇〇圓)
 - (ハ)、九月三十日迄 (一、二〇〇圓)
 - (ニ)、十月十五日まで (六〇〇圓)
 - (ホ)、十一月一日まで (三〇〇圓)
 - (ヘ)、十一月三十日迄 (二〇〇圓)
 - (ト)、超過供出奨励金 (一、二八〇圓)
- 右は各々一石當り價格
(二)、昭和二十八年産米追加拂は石當り二〇五圓 (農林課)

畜産共進會の状況

一、縣畜産共進會
①種豚 九月二十三日、諫早公園に於て開催、大村市より十頭出品、昨年同様、団体賞を獲得し個人賞としても

一 等 一
三 等 二
の成績を収めた

②綿羊 十月三、四の兩日、大三東村に於て開催、大村市より四頭出品、その成績(個人)は

(%) 反當三一四キロを撒布する。
(東彼杵地区病害虫防除所長)

次の通り
三、市内の各共進會
①九月十九日萱瀬農協(綿羊を含む)
②十月九日大村市綿羊共進會(大村公園) 全日大村農協畜産共進會(大村公園)
③十月二十日竹松和牛共進會 (農林課)

伊勢神宮枝打奉仕
毎年春秋二季に、伊勢神宮に於て造林奉仕(春季は植樹、秋季は枝打)が実施されていますが、今秋も亦、来る十月二十五日から枝打奉仕が実施されるので、お知らせ致します。詳細については最寄りの出張所、又は市農林課に、お問合せ下さい。(農林課林務係)

タバコは
市内の店で
買つて下さい